今金町国保病院

今年もよろしくお願いいたします

年頭にあたって



今金町国保病院
院長　楯　秀貞

明けましておめでとうございます。

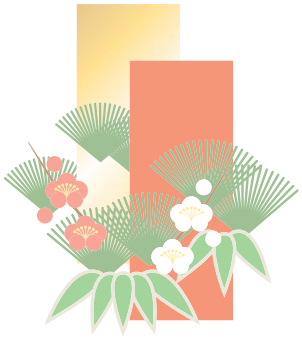
新年が皆様にとって良い年でありますよう願っております。

国保病院では昨年10月、乳幼児の予防接種において、誤接種という事故を起こし、接種を受けたお子様、保護者様には多大な御迷惑をおかけし、また町民の皆様にも御心配をおかけしましたことを、深く御詫び申し上げます。実施体制を見直し、二度とこのような事故が起こらぬよう努力してまいります。

当院の医師確保状況ですが、消化器内科については、派遣を受けていた北海道緊急医師派遣事業が昨春に4年間の終了時を迎えたため、非常勤の医師を半年間確保し、10月以降は八雲総合病院からの出張医によって胃カメラのみ実施という体制にならざるを得ませんでした。整形外科は従来通り2週間毎の診療を維持し、小児科を再開することは出来ましたが、眼科は月1回の診療となりました。常勤の消化器内科医は、現時点では残念ながら確保されておりません。また看護師については、派遣会社への依頼を継続しながらも、自前での確保に努力してまいりましたが、成果を上げるには至っておりません。

ドクターヘリの導入が決定し、患者さんの一部については、函館への救急搬送時間が短縮されますが、北部檜山地域での通常の医療供給体制は、悪化しつつあるようです。厳しい環境ではありますが、住民の皆様が安心して生活できるような医療を提供する病院として、努力を重ねていきたいと存じます。

今後とも町民の皆様の御理解と御支援を心から御願い申し上げる次第です。



まちづくり推進課

ご協力お願いします

3地区で地域交通実証調査運行を実施

▼平成27年2月2日（月）から2月28日（土）の月曜日から土曜日の間、「金原・豊田地区と今金町内」を結ぶ路線、「日進地区と今金町内」を結ぶ路線の予約（デマンド）バスの実証調査運行を、それぞれ実施します。



問合せ：まちづくり推進課　☎82-0111

「金原・豊田地区」と「日進地区」で本年度2回目の予約（デマンド）バス実証調査運行が行われます。

昨年9月に実施した1回目の実証調査運行では、「金原・豊田地区」と「日進地区」両地域併せて延べ46名にご利用いただき、「買い物でも利用できて便利だった」、「まだ慣れなくてよくわからない」など、さまざまなご意見、ご感想をいただきました。アンケートや聞き取りで明らかになった課題等の対策を検討しながら、2月2日から28日の一カ月間、月曜日から土曜日まで毎日運行する、予約バスの実証調査運行を再度実施します。

昨年10月からは、八束・白石地区で、予約バス「ルンるん号」の本格運行がスタートしており、多くの方にご利用いただいております。今金町では、今後も引き続き、これまでの患者輸送バス・スクールバス等を見直し、また、函館バスが運行する幹線バス（長万部～瀬棚線）との接続も考えながら、住民の利便性向上を図ることを目指し、新たな地域交通サービスの拡大を検討してまいりますので、実証調査運行へのご理解とご協力をお願いします。

実証調査運行のポイント

▼実証調査運行期間	平成27年2月2日(月)～2月28日(土)
▼実証エリア	❶金原・豊田地区　❷日進地区
▼実証調査運行のポイント	・スクールバスに町民の皆様も乗車できます。 ・バス利用はすべて予約制です。 ・通院や買い物など多目的で利用できます。 ・各便で予約者が一人もいない場合は運行しません。 ・有料です。（スクールバスの利用は無料） ・患者輸送バスはお休みします。
▼運行日	月～土（日・祝日は除く）
▼利用料金	全エリア　片道200円 （スクールバス利用は無料）
▼運行便数	❶金原・豊田↓今金（午前）各3便 ❷日進地区↓今金（午前）各3便 ＊帰り ❶今金↓金原・豊田（午後）各6便 ❷今金↓日進地区（午後）各6便
▼利用方法	すべて予約が必要です。（出発30分前までに）
▼詳細内容	実証調査エリアの金原・豊田地区、日進地区の住民の方には、路線図・時刻表等を配布します。

「血糖値が高め」と言われたら・・・
～糖尿病に要注意！～



① 糖尿病とは？

血管を痛める病気です。自覚症状は進行しない限り、殆どありません。
通常、食べ物に含まれるブドウ糖は、インスリンというホルモンの作用で体に取り込まれ、エネルギーとして利用されます。このインスリンの作用が弱いと、ブドウ糖（血糖）をうまく利用できず血糖値が高くなるのが、糖尿病です。

② 血糖値が高いと良くないのは、なぜ？

糖には血液中の物質とくっつく性質があり、その物質の働きを妨げます。例えば酸素を運ぶ物質に糖がくっつくと、細胞に必要な酸素を運べず、細胞が死にます。糖は大事なエネルギー源ですが、高血糖状態は、他にも感染症に弱くなったり、動脈硬化を進行させたり、様々な病気につながるので、正常値を保つことが大事です。

③ 自分の検査値を確認しましょう。

【健診の基準値】
正常値：空腹時血糖≦９９mg/dl　若しくは　随時血糖≦１４０
ＨｂＡ１ｃ≦５．５％
＊血糖は採血時の値であり、ＨｂＡ１ｃは過去１～２か月の血糖値の状態を示す



もし健診等で血糖が高めであれば、食事や運動習慣の改善が必要です。精密検査や治療が必要な方は、必ず受診しましょう。自覚症状がないからと放置すると、進行して合併症を引き起こします。（例：神経障害、網膜症、腎症、脳梗塞、心疾患、歯周病、足潰瘍等）

糖尿病は、生活習慣を改善したり、適切な服薬治療を続け、血糖値をコントロールすることで、発症を予防したり、合併症の進行を防ぐことができます。
次号は予防のポイント等について、お伝えします！

保健福祉課

みんなの健康　2015年新年号

《連載》糖尿病について～第１回

▼▼糖尿病の大きな問題は、合併症。
▼糖尿病による腎臓障害で人工透析を始める人も多く、また糖尿病が原因の視覚障害が発生することもあります。
▼正しい知識を身につけ、予防へとつなげていきましょう。

問合せ：保健福祉課健康推進グループ
☎82-2780

第11回いまかね図書まつりがおこなわれました

11月22日～23日、町民センターで「第11回いまかね図書まつり」が開催されました。11年目突入の今年のテーマは、『ふるさとをつなぐ絵本のチカラ』
まつり一日目は〝絵本の里〟剣淵町が舞台となった映画「じんじん」上映会が開催されました。まつり２日目には「あべ弘士氏講演会」「剣淵町講演会～おじさんたちの読み聞かせ」をはじめ、町内外図書ボランティア各団体によるステージ発表、図書に関係する展示など行われ、当日は親子や高齢者など約200名が来場し、読み聞かせなど本と触れ合う時間を楽しんでいました。また昼食は今金町女性団体連絡協議会、今金町商工会女性部のあたたかい手作りメニューや檜山北高校ボランティア同好会の生徒などによるお手伝い等、地域・学校・家庭が一つとなる「図書まつり」をおこなうことができ、まさしく「読書と作文のまち」いまかねとなりました。



▲各団体の参加による展示会場のようす

図書まつりのメイン「あべ弘士氏講演会」では旭山動物園で飼育係をされていたころのお話や様々な動物の写真を見る貴重な機会となり、あべ先生からは「またぜひ今金町で交流しましょう」と言っていただくことができました。
剣淵町「おじさんたちの読み聞かせ」では、男性の読み聞かせの実演を楽しむことができ、また意見交換では「ぜひ地元でも今金町の組織だった取り組みを参考にしたい」と互いに図書活動の刺激を受けることできた図書まつりとなりました。



▲〝絵本の里〟剣淵町が舞台となった映画「じんじん」



▲町内外図書ボランティアのステージ発表



▲剣淵町「おじさんたちの読み聞かせ」実演のようす



▲「あべ弘士氏講演会」講演のようす